

府民からいただいた意見の概要

多くの皆様から御意見をいただきありがとうございました。その概要及び京都府としての考え方については、次のとおりとりまとめました。

府民意見提出者数 : 25名
意見数 : 40件

振興方策に関すること	34件
(1) 京都舞鶴港を活かした地域づくり	3件
(2) 由良川を活かした地域づくり	6件
(3) 地域の特性を活かした産業の振興	3件
(4) 地域の資源を活かした観光の振興	1件
(5) 地域の振興を支える交流基盤づくり	7件
(6) 地域に根ざした文化の振興と教育の推進	1件
(7) 環境と調和した快適で魅力ある地域づくり	3件
(8) 少子・高齢化、人口減少社会等に対応した地域づくり	5件
(9) 多様な主体の社会参画による地域づくり	5件
(10) 安心・安全な地域づくり	0件
その他	6件

意見募集期間：平成17年1月18日～2月10日

意見募集方法：新聞折り込みによる管内各戸配付（「計画」中間案の概要）

中丹広域振興局ホームページに「計画」中間案の掲示

各府機関での「計画」中間案の配付

意見の要旨	京都府の考え方
(1)「京都舞鶴港を活かした地域づくり」に関すること 3件	
<p>舞鶴港を起点とした「中丹友好の船」を環日本海地域であるロシア沿海地方、韓国、中国東北地方に派遣する。それに伴って、これらの地域と文化、学術、経済交流を推進する。</p>	<p>舞鶴港を活用した交流についての提案であり、その趣旨につきましては、振興方策の(1)に記載しておりますとともに、京都府におきましても、「Kyôの海外人材活用プラン」を策定し、積極的な国際交流を図っていくこととしています。</p> <p>今後、具体的施策の検討にあたり、参考にさせていただきたいと考えております。</p>
<p>中丹地区の福知山市には京都創成大学と京都短期大学があり、非常にユニークな活動を行っている。一方、日本海を挟んで中丹地区と向き合っているロシアの沿岸地方では日本留学熱が非常に高まりをみせている。そこで、ロシア沿岸地方から留学生や研究者を両大学に招請してはどうか。人の流れには物の流れも伴うもので、交通路としての舞鶴港も活性化すると思う。</p>	
<p>港湾の重点整備（日本海から中国に対する京阪神を結ぶ重要拠点）</p>	<p>京都舞鶴港は府北部地域の物流拠点港としての整備を着実に進めています。</p> <p>現在、船舶の大型化、荷役のコンテナ化に対応するために、5万トンの大型船にも対応でき、水深14mの岸壁を持つ和田ふ頭（仮称）の建設やアクセス道路の整備を重点的に進めており、平成20年代初頭の完成を目指し、鋭意努力しています。</p>
(2)「由良川を活かした地域づくり」に関すること 6件	
<p>由良川を活かし他府県にまねのできない由良川と文化遺産を活かす方途として、由良川下流（岡田下、大川、八雲橋等を起点）における府県高等学校対抗ボートレースの開催。</p>	<p>平成9年の全国高等学校総合体育大会において、ボート競技場候補地となっていましたが、地元の方から、当該水域は一見流れが穏やかであるものの、水流が複雑、かつ流量も季節によって大きく変化することから、競技を行うには危険性が高いと</p>

	<p>いう御意見をいただき、会場として使用しなかった経過があります。</p>
<p>綾部、福知山、河守、高津江を経て、由良川までのルートを由良川観光船がくだれないか。接岸所、浅い瀬を掘り下げ、保津川くだりのように上陸ガイドをするなど、ケアは必要だが。</p>	<p>京都府におきましても、由良川とともに生きる地域づくりを進めてまいりたいと考えており、計画の様々な場面で記載しております。</p>
<p>この地域は由良川が宝でこの河を生かさなくてはと思っていた。 由良川を活かすものとしてカヌー等のレジャー、スポーツ振興策も考えてほしい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 河畔を一大桜並木（または梅）として、奈良吉野以上の花見場所にする。 ・ 河川敷でソフトボール、サッカー、グランドゴルフ等ができるようにする。 ・ 河水泳場、魚捕り場を設置（指定）する。竹林、雑木林も併せてつくる。 <p>これからの子供を強く逞しくするために、プール主体から脱し、川の流れにも負けず、魚捕る術を覚える、竹や木を用いて工夫、細工する術を身につける場とする。</p>	<p>また、由良川は、河口から新綾部大橋付近までは国土交通省、それより上流は京都府の管理範囲となっており、平成15年度に国土交通省により策定された「由良川水系河川整備計画」においては、由良川の豊かな自然を活用したスポーツや憩いの場・体験学習の場の整備を支援するという考え方が示されております。</p> <p>また、今後の川づくりに当たっては、流域住民等とのコミュニケーションを十分に図りながら事業を実施していくとされておりますので、京都府におきましても、いただきました御意見を参考に、具体的施策を検討するとともに、国土交通省をはじめ関係機関と連携を図ってまいりたいと考えております。</p>
<p>由良川提を桜でいっぱいにしてほしい。鴨川の桜並木の様に郡部にはあまり桜の名所がない。</p>	
<p>「生活とリクリエーションのための新しい交流型交通路」 くるま以外のみ～んなの道路 ゆら・すろう・うえい（YURA・SLOW・WAY）整備の要望</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 子どもたちが安全に心穏やかに通学できる環境、世代や身体機能が異なる人同士、そしてゲストが自由に移動し交流できる環境こそ都市部に失われ山間部に求められる豊かさであり、誰もがずっと住みたいと思う、あるいはこれから移り住みたくなる地域“中丹”の価値ではないか。由良川の河川敷周辺に、子どもやお年寄り、身障者、ゲストなどが、自動車を使わず安全に移動・周遊できる新発想のコミュニティー交通路 	

の設置をぜひ 検討してほしい。

心豊かな地域社会へ 由良川河川敷コミュニティ・ロード

- 山と海を繋ぐ豊かな川・由良川が私たちの地域には流れているが、今は遊泳も魚釣りも禁止。河原へ下りることすら困難。この河川敷に地域を繋ぐ“水辺の遊歩道”として、ベンチや東屋などの休憩スペースやトイレなどを設置する。幼児や小学生が校外学習に行けるような野草・薬草・果樹園、パーベキューエリアなどもあれば楽しい。茶店もあり、地元のおばちゃんたちが、甘酒やぜんざい、自慢の手作り「豆っこ羊羹」や「和木の梅干し」「小畑味噌」なども販売し、特産品づくりにつなげる。

エコ未来へ向けて 自転車ロード

- 自然を楽しみながらの「エコ・ツーリズム」目的の自転車ツーリングが注目されることを踏まえて、将来的には例えば綾部の「立岩」あたりから由良川河口までをつなぐ自転車ロード“YURA・SLOW・WAY(ゆら・するら・うえい)”の早急な整備を提案する。(自転車キャリア付きエコバス交通網の充実、宿泊施設、農家レストラン、駐輪場などの整備も不可欠)
- レベルの高い「エコ先進エリア中丹」として全国の環境意識の高い個人や団体からも認知されれば、エコ・ツーリング目的に他府県からも大勢の人びとの来訪、移住も見込まれる。
- 自転車をきっかけとして地域に点在する素朴な歴史的建造物やハス園、古墳、天文館なども点から線へ繋がれ、農作業や炭焼き、石釜パン焼きやカーヌーなども盛り入れた体験型ツアーや、農家滞在・農業体験ツアーの企画など、スローライフ志向が若い世代にも深く浸透してきている現代、グリーンツーリズムへの将来的な拡がりは限りないものがある。

グリーンツーリズム等については、農山村の自然や文化、農作業などに価値観を見だし、農山村へ移り住んだ、若しくは移り住みたいと考える都市住民の方々が増加している中、地域の環境を守り、生き生きとした農山村づくりを進めていく上で、有効と考えております。

御意見を参考にして、市町、地域住民の方々とも協議し、施策の具体化に向けて検討していきたいと考えております。

(3)「地域の特性を活かした産業の振興」に関すること

3件

地域特産物の振興のため、大学教授等と協力し、行政と府民が一体となることが、地域経済の発展のためには急務。

中丹地域には、教育機関・研究機関が多くあり、「産」「学」「公」が連携し、ブランド京野菜の振興や起業の促進など、地

	域経済の発展をめざしてまいりたいと考えております。
害獣被害で耕作の意欲をなくし、荒れ放題になっている農地が多く目に付く。働く意欲が沸くよう、害獣駆除に取り組んでいただきたい。熊・鹿・猪より人間としての生活のほうが大切。	鳥獣被害により、営農、耕作意欲が減退し、農山村地域がますます荒れた状態になっていくことが危惧され、鳥獣害対策が緊急の課題であることは十分承知しており、地域住民の方々や関係市町と連携の上、被害の軽減を図っていく必要があると考えております。 一方、ツキノワグマのように、生息個体が少ない鳥獣については、共生という観点も必要であると考えております。
中丹地区の農協、漁協と阪神地区の生協や大手スーパーとが協定を結び、中丹地区の特産品をこれらスーパーなどの特売場で売ってもらってはどうか。スーパーや消費者などとの信頼関係が構築されれば、コンピューターで消費者の需給や在庫管理を徹底し、「消費者が必要とする品物はその日の内に店頭並べる」というシステムを確立してはどうか。	中丹地域の特産品については、百貨店におけるイベントや北部4商工会議所が開催する物産展等で販路開拓を図っています。さらに、一層の品質の向上を図り、ブランド化を進めてまいりたいと考えております。 農協の組合員から出荷された農産物は、JA全農京都を通じ、量販店や生協などの多様なルートから消費者への販売が進められています。
(4)「地域の資源を活かした観光の振興」に関すること 1件	
舞鶴では自然からくる観光資源が多くあるが、全国的なPRが不足しているのでは。それはJRの全国時刻表の路線地図に周遊地指定のマーク(緑色)の表示がないことであきらかである。舞鶴は岸壁の母で知られ全国的な名地の一つになっているのに。	地域の自然は魅力ある地域資源の一つであり、市町、観光協会、地域の方々等と連携を図りながら、また、JR等の協力もいただきながら、より一層の地域資源のPRをしていきたいと考えており、様々な形の情報発信をしていく旨、振興方策(4)に記載しました。
(5)「地域の振興を支える交流基盤づくり」に関すること 7件	
舞鶴湾は鶴の羽のようになっている。そこに橋をかければ、地域の活性化及び東西舞鶴の融合にもつながり、また、大丹生丸が廃止になった	御提案の趣旨は理解できますが、現在の社会経済情勢では、困難な課題があると考えております。

<p>今、大変便利になる。</p>	
<p>綾部市は駅周辺に綾部市を宣伝するものがない。綾部は京都方面からも、JRや国道27号線の由良川沿いを通るので、由良川を意識した京都タワーのようなものが建てられないか。</p>	<p>地域のシンボルを設置する際には、市やその地域の住民の皆様の理解と納得が必要であると考えております。</p>
<p>舞鶴、綾部の合併による漁・農・林の理想郷の造成。 そのための道路網、菅坂峠の早期改修。</p>	<p>合併については、関係市町において主体的に検討されるべきと考えております。 菅坂峠については、地域間交流の観点からも、早期完成に向け努力しております。</p>
<p>他府県から人を招くにはアクセスのよい駅周辺の活性化が必要。そのためには大型の百貨店、スーパーとともにレジャー施設、レストラン街など充実させて、若者、ファミリー、みんなが楽しめるようにする。</p>	<p>市町がTMO(まちづくりを運営・管理するための機関)等と一体となって、駅周辺等中心市街地の活性化について、創意工夫しながら努力されており、京都府としましても、こうした取組に積極的に支援を行っているところです。</p>
<p>綾部市と舞鶴市との間にある「菅坂峠」のトンネル工事について、「地域の振興方策」の中では、一切触れられていない。将来とも関係のある私たち地域住民には、これまでになんの連絡もないままで、不気味にさえ感じられるので、あのトンネル工事の目的、実施主体、完成年度などについて、明確に説明してほしい。</p>	<p>菅坂バイパスについては、舞鶴・綾部両市間の交流と緊急輸送道路の確保と位置付け、京都府が進めている事業です。 平成19年度の完成を目指しており、地域の振興方策(5)に明確に記載しました。より住民の皆様に理解いただくよう、今後とも現地見学会等広報に努めてまいります。</p>
<p>京都縦貫道の部分完成で宮津方面は便利になり感謝している。綾部から京都側の早期実現を期待している。</p>	<p>京都縦貫自動車道の綾部から丹波間については、現在、国土交通省により精力的に工事が進められています。京都府としましても、地域の振興方策(5)に記載しており、積極的に支援してまいりたいと考えております。</p>
<p>道路整備が第一、縦貫道の早期完成。</p>	
<p>(6)「地域に根ざした文化の振興と教育の推進」に関すること 1件</p>	
<p>隣接する福井県若狭出身の偉大な作家水上勉氏が逝去された。氏の作</p>	<p>「地域ゆかりの人」も地域の貴重な財産・魅力であり、様々</p>

<p>品は京都や福井を舞台としたものが多く代表作「飢餓海峡」の主要な舞台の一つは舞鶴市である。氏の業績をたたえ、それを地域の発展につなげていくために、若狭地区と中丹地区が合同で「水上勉氏追悼サミット」の類の行事を開催してはどうか。</p>	<p>な形でアピールに努めてまいりたいと考えております。</p>
---	----------------------------------

<p>(7)「環境と調和した快適で魅力ある地域づくり」に関すること 3件</p>	
--	--

<p>隣接する兵庫県とはすべての面に於て格差を強く感じる。 車に乗れない人の為に体を動かせる近くの広場、公会堂等を使用できるよう提供してほしい。</p>	<p>快適で魅力ある地域づくりのために、農村広場や散策道などの整備に対する支援について、振興方策(7)に記載しています。</p>
--	--

<p>環境先進型・相互コミュニティゾーン・中丹を目指して 自動車主体から自然と人が一体化したエコ社会へと、人々の意識は急速に移り変わりつつある。地域に生きる人たちがいきいきと暮らせ、都市からも自由に往き来して交流できる風通しのよい相互コミュニティこそ、成熟した新しい社会のかたちでは。 豊かな自然環境に囲まれ、都市部からも程良い距離に位置する中丹エリア。その利点を最大限に活かしつつ、全国でもここだけにしかない、未来を見据えた環境先進地域へと発展することを願う。</p>	<p>中丹地域の位置や、豊かな自然環境を活かした地域づくりを進めていくことは、重要な課題であると考えており、その振興に努めてまいります。</p>
---	--

<p>由良川そのものが汚れてきているので、洗剤・肥料・汚水・排水チェック・流れてくるゴミ等を意識し、川に入り込む川の水からきれいにする取り組みがされれば、川の生き物がもっと豊富になるのでは。</p>	<p>管内河川の水質状況は近年、概ね横這いですが、今後とも水質検査による現状把握を行いながら、よりきれいな河川になるための取組や啓発を関係市町や住民の皆さんと一緒に取り組んでいきたいと考えております。</p>
---	--

<p>(8)「少子・高齢化、人口減少社会等に対応した地域づくり」に関すること 5件</p>	
---	--

<p>乳幼児の親の支援は充実してきているが、思春期の子供達が健全に、社会に参加したり、友達を作ったりできる場作りをしてほしい。</p>	<p>京都府におきましては、市町や地元の方々とも協力し、小・中学校の子どもを対象に、学校や公民館の放課後や休日を開放し、「子ども居場所づくり」に取り組むとともに、高校生のボラン</p>
---	--

	<p>ティア活動推進事業などを実施しているところです。</p> <p>今後とも、これらの取組をさらに充実させていきたいと考えております。</p>
<p>高齢者の人達の立場から考えられていない。「NPOバリアフリー調査団」を設立してほしい。</p>	<p>高齢者を含め、だれもが快適に過ごすことができるよう「人にやさしいまちづくり」の推進は重要な課題であり、地域の振興方策（８）に記載しています。また、福祉のまちづくりの視点にたった市民活動の取組が行われるよう施策の推進に努めたいと考えております。</p>
<p>若者世代に生きゆく元気と展望のため、進取的な方策で若者間の、とりわけ未婚者の交流を助長。</p>	<p>若者が住み続けたいと感じる地域づくりについて、皆様の御意見もいただき、さらに検討してまいりたいと考えております。</p>
<p>勤労者や障害者・核家族、単身者の援護策。役所に関し休日業務の設定及び民間に取り次ぎ委託。民生や医療費関係申請制度の手続き援助、長期療養者の３ヶ月転院（たらい回し）の対策。リバースモーゲージ制の確立。民生関係諸情報の透明化。</p>	<p>京都府におきましては、市町と連携し、勤労者や障害者、核家族、単身者などの方々を含め、だれもが住みよい地域づくりをめざし、様々な施策を展開しているところです。</p>
<p>若い母親が安心して子育てできるように生涯学習センター内に子育てプレイルームや子育てサークルなどを充実させ、母親同士の出会いの場を提供する。</p> <p>特に障害や発達に悩みをもつ母親たちが問題の早期発見、早期療育に取り組めるように、小児リハビリ科に専門医をおいて療育センター（母子通所施設）などを設置する必要があるのではないかと。</p>	<p>現在、京都府、福知山市において、「子育て支援計画」を策定中であるとともに、子どもたちが健やかに育つ環境づくりは重要な課題であると考えており、府立舞鶴こども療育センターや障害児（者）地域療育等支援施設において、身近な地域での療育指導、相談等の推進に努めたいと考えております。</p> <p>障害や発達に悩みを持つ親が、問題の早期発見や早期療育に取り組むことへの支援については、地域の振興方策（８）に記載しました。</p>
<p>（９）「多様な主体の社会参画による地域づくり」に関すること 5件</p>	
<p>高齢者にもボランティアを義務づけ、事業運営に必要な監視・子供の指導・雑用等の業務を任せれば、すばらしいものになる。そのためには、</p>	<p>京都府におきましては、定年退職者を始めとして、年齢を重ねた方の能力や知恵をますます発揮していただくことが重要で</p>

<p>ハローワーク、シルバー人材センター等とタイアップして、高齢者の人材登録制度を作る。</p>	<p>あると考え、趣旨について地域の振興方策(9)に記載しています。</p>
<p>高齢といっても65歳~70歳まで動ける年齢。暇をもてあましている人がいるのはもったいない。経験をいかせる工夫を。</p>	<p>今後、関係の皆様と協議し、具体的施策について検討していきたいと考えております。</p>
<p>家族・家庭のライフスタイルに応じた都市在住の中老年者のふるさと回帰について、企業の参画を得て雇用機会の創出や、併せて情報の周知などをシステムとして整備し若・老世代の近・接住をはかる。</p>	
<p>「女性の地域づくり活動に対する支援」とあるが、ある意味女性はもう十分元気に地域で活躍してきている。女性向けセミナーも充実してきていると思う。それよりも男女共同参画に向けて、今度は男性が地域作り活動ボランティア等に参加できるように支援してほしい。</p>	<p>京都府におきましては、平成16年4月から「京都府男女共同参画推進条例」を施行し、その推進を図っているところであり、女性・男性がともに地域づくりに関わっていくことは重要であると考えており、地域の振興方策(9)に記載しました。</p>
<p>男性向けの生き方セミナー、ジェンダー教育等をもっとふやして、男性が生きやすくなるよう、男性が仕事だけでなく、様々なことで生きがいをもてるように、男性を元気にしてあげてほしい。</p>	<p>また、女性・男性を問わず、NPOやボランティアなどの活動に対し支援することについて、同(9)に記載しています。</p>
<p>その他 6件</p>	
<p>この「中間案」が木になり、机上のプラン止まりにならないように、京都府及び3市の横断的な一大プロジェクトとして進め、実行に移してもらいたい。道路・交通、情報の進展下では、広い面積など問題ではない。英知を結集して邁進してください。</p>	<p>地域が連携して一層飛躍することが、この計画のめざすところであり、今後も地元市町との連携を密にして具体的施策を進めていきたいと考えます。</p>
<p>都市圏へのアクセス向上は、地域から人間を流出させることにはないか。地域の文化、伝統そんなものを守ることに振興にならない。ここでしかできないこと、たとえばカジノ、超歓楽街等条例を改正してまで計画をするぐらいの意気込みがほしい。</p>	<p>地域の文化・伝統は、長年にわたって地域で受け継がれ、発展してきた大切なものであり、地域の資源として活用していくべきものと考えております。</p>

<p>中丹3市3町は合併して中京都市とし日本海側では稀な30万都市を目指す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 市役所を物部に定め現在の各市域から20分以内に行けるよう交通網を整備する。 ・ 市域は3区制とし、舞鶴区は貿易・工業、福知山区は商業、綾部区は農林業の特区として総合的發展を図る。 ・ 中心部は教育、文化、芸術を中心とし整然と企画された住居地区とし豊かな平和の街として定住地とし通勤の拠点とする。 ・ 1200年前の平安遷都の智慧に学び将来を見据えて、現代文明の粋を駆使して理想的な街づくりプランを作り推進する。 	<p>合併については、関係市町において主体的に検討されるべきと考えております。</p> <p>この計画においては、それぞれの地域が個性を輝かせるとともに、連携することで、地域の魅力が増すことをめざしています。</p>
<p>各地域の資源を活かした活動が網羅されており、地区活性化運動が理解できた。今後の計画展開にあたっては優先順位、集中化などで府のポリシーの明確化が必要。住民と行政の役割をわかりやすくした、たたき台が必要。</p>	<p>御指摘のとおりであり、厳しい財政状況の中、具体的施策につきましても、必要性や効率性等を踏まえ、優先順位をつけて、実施してまいりたいと考えております。</p>
<p>府や市営のグランド等の公共施設の一般貸し出し及びその費用の徴収業務は、一括民間委託する。</p>	<p>京都府におきましては、公共施設の運営等で、公務によるよりも効果的なものについては、民間委託等を進めていくことも必要であると考えております。</p>
<p>「市町と連携し、地域住民の自主・自立を促す施策を展開する」とあるが、それに対する地区住民の間での話し合いを強化するための具体的な方策を示してほしい。</p>	<p>この計画を展開していくためには、地域の方々の主体的な取組が重要であり、市町とも連携・協議しながら進めてまいりたいと考えております。</p>